

# 平成 25 年度 国有林モニターアンケート (第 2 回) 結果概要

この度、国有林モニターの皆様から、森林・林業や国有林野事業に関する関心事項、ご意見、ご要望を伺うため、平成25年1月から2月にかけて国有林モニターアンケートを実施し、64人中51人の方に回答をいただきました（回答率80%）。ご協力有難うございました。

以下に、アンケートの結果を報告いたします。なお、自由意見は抜粋して掲載していません。

## 質問事項

- I 国有林モニター活動について
- II その他

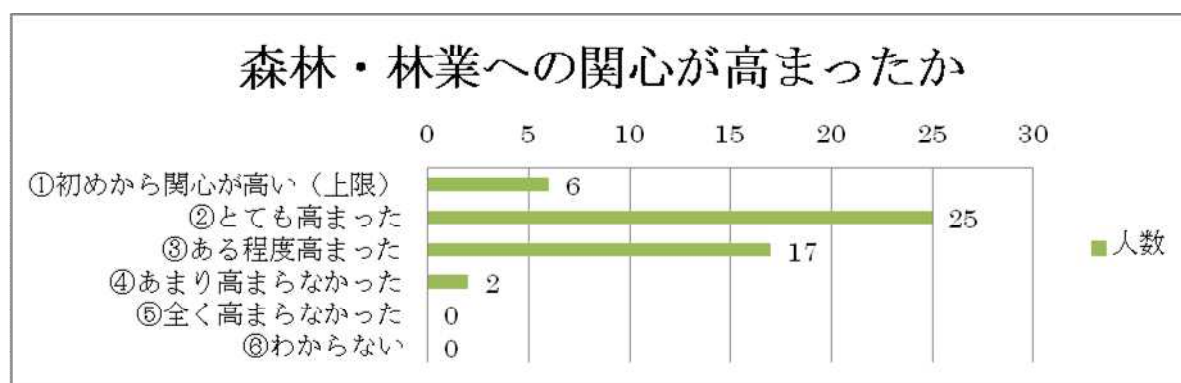
### I 国有林モニター活動について

問 1 国有林モニターの皆様は、森林・林業や国有林への関心から、国有林モニター活動への登録を頂いていると思います。モニター活動を通して、森林・林業への関心はさらに高まりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

- ①初めから関心が高い（上限）
- ②とても高まった
- ③ある程度高まった
- ④あまり高まらなかった
- ⑤全く高まらなかった
- ⑥わからない

#### まとめ

多くの方が、国有林モニター活動を通して関心が高まったと回答下さいました。モニター会議での現地見学、毎月送付する広報紙や資料等により森林・林業の情報に触れ、関心が高まったとの回答が多く寄せられました。



#### <回答>

- ・ 広報誌を読んだり、森林の視察に参加した中で、普段知りうることのできないことを知り、さらに関心が高まった。
- ・ 国有林が有るということは知っていたが、ただ国有林ということだけで管理もなにもしていないと思っていた。治山事業があるということも初めて知った。
- ・ モニター前は、国有林のみ経営し、一般民有林との共存等まったく考えられていない感

覚だった。

- ・これ迄、国有林についての関心はかなり低かったが、このモニター活動でいかに大切なものかを知った。
- ・情報としては学ぶことも多かったが、実際に身近な国有林での見学や体験があると、有意義だと思う。
- ・全くの初心者から林家までを対象にしている、現モニター制度ではやむを得ないと思う。レベルを考慮した制度、もっと身近に感じられるよう各県の管理署が行うモニター制度、を検討してもいいのではと考える。

問2 国有林モニターの活動を通して、森林の持つ多面的な機能についての知識が深まりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

問3 国有林モニターの活動を通して、林業や製材業についての知識が深まりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

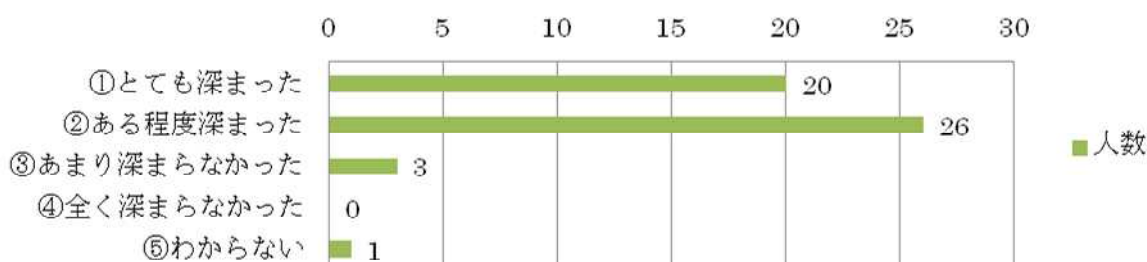
問4 国有林モニターの活動を通して、国有林についての知識が深まりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

- ①とても深まった ②ある程度深まった ③あまり深まらなかった  
④全く深まらなかった ⑤わからない

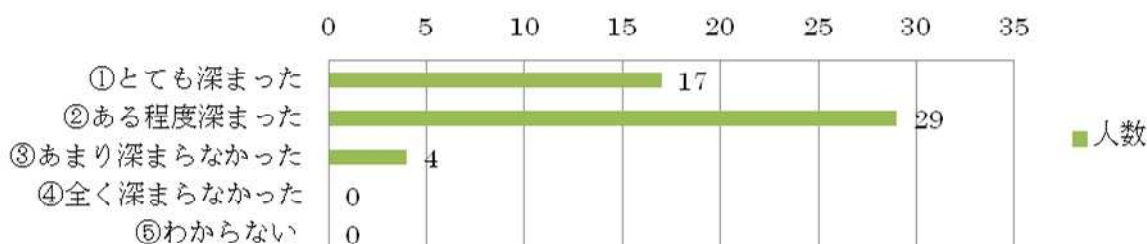
#### まとめ

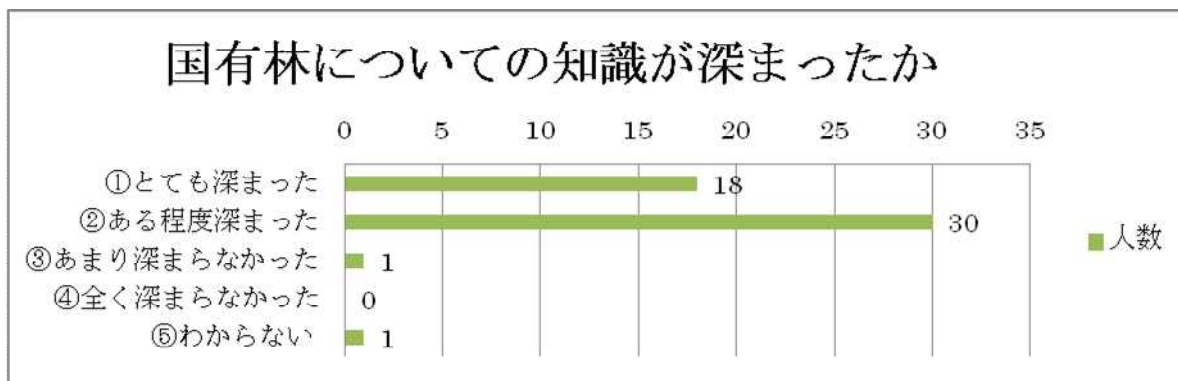
多くの方が、森林もつ多面的な機能、林業や製材業、国有林についての認識が深まったと回答下さいました。『以前から認識していたが、それを発揮させる取り組みを知ることができで有意義だった』『資料を読むだけでは難しい面があり、情報として得られるものはあっても現場に足を運んでないため、知識が深まったとまではいかない』『広大な面積の国有林があることを知り、その活用が重要であることを感じた』などの意見をいただきました。

#### 森林のもつ多面的な機能についての知識が深まったか



#### 林業や製材業についての知識が深まったか





<回答>

【森林の持つ多面的な機能についての知識が深まったか】

- ・ 広報誌等を通じて、水源涵養、レクリエーション、土砂災害防止など、森林の持つ公益的機能は極めて重要であると再認識できた。その意味でも、林野会計の一般会計への移行は適切であると考えます。
- ・ 木というものが、これ程環境に強い影響力を持っている事を痛感させられたと同時に、これからもっと大事に取り扱わなければならないと思った。
- ・ 森林が有する機能の多面性は以前から認識していたが、それを発揮させる取り組みを知ることができて有意義だった。
- ・ 森林の状況等により、区分している事が分かった。単に木材生産をするだけでなく、正しく区分することで、環境に負担の少ない利用ができると思った。
- ・ 今までは山は見るだけだったが、実際にいろいろな作業が行われていることがわかり知識が深まった。
- ・ 森林のことは、知れば知る程大きく感じ、もっと力を入れて一般人に知らせて皆で大切にしていけることが重要だと感じている。

【林業や製材業についての知識が深まったか】

- ・ コンテナ苗というものを初めて知った。また、育苗技術を研究している機関があることも知ることができた。さらに育苗技術が向上し、コスト削減が進むことを期待している。
- ・ 木質バイオマスやコンテナ苗等、知らない事ばかりであったので、まず言葉の意味として、それぞれの意義を考える様になり、少しは知識が深まったのではないかと思う。
- ・ 国産材の利用が増加していることは、山の所有者に収益が還元されることにつながるのいいことだと思う。低コスト化のために、林業機械の導入、製材工場の大規模化が進んでいるが、地元の小さな製材所が減っていくことが残念に感じる。
- ・ 林業に関しては高性能の機械が普及してきているが、それは大規模の林家か、伐採・搬出を生業としている人がほとんどだ。中間の林家が購入できる価格で性能の良い機械開発も必要だと思う。
- ・ 国有林での生産体制は良く分かったが、民有林でも同じ様な生産体制を築いて欲しい。
- ・ 産業としての理解は資料を読むだけでは難しい面があり、情報として得られるものもあっても現場に足を運んでないため、知識が深まったとまではいかない。

【国有林についての知識が深まったか】

- ・ 広大な面積の国有林があることを知り、その活用が重要であることを感じた。

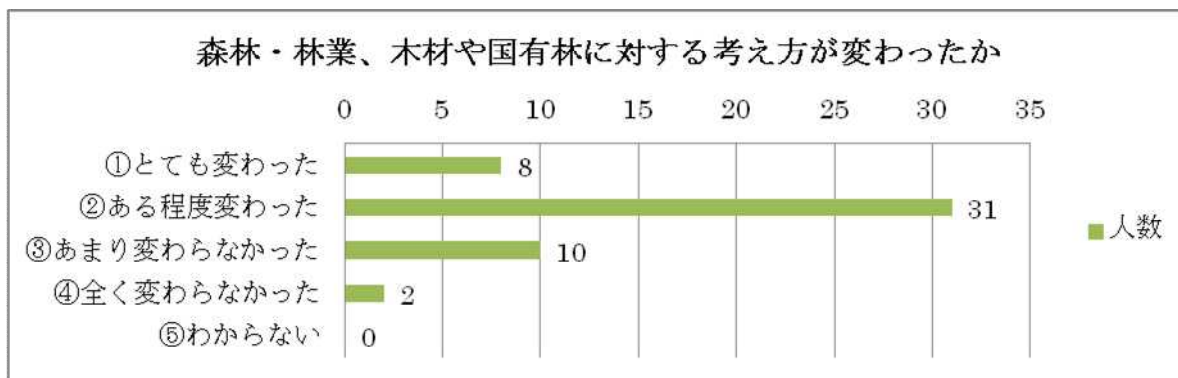
- ・ 国有林と言え、大学（国立大学）が保有する山地や国立公園の山林しか考えつかなかったが、今回、色々な場所に、また色々な目的で保有している山林がある事が分かった。
- ・ 森や山に国有林・民有林という色分けがあるという意識さえなかった。
- ・ 民間との連携や地域住民との交流が活発に行われていると感じた。
- ・ モニターに登録するまでは目にする情報は余りなく、そういう点から格段に知識は増えたと感じる。
- ・ いかにも多くの国有林があるのか知った。大切にしてほしい。もちろん、ヨーロッパ諸国のように自然と共存するのを前提に。動物を駆除、殺傷するのがすべてではないはず。動物の生活を犯さないような工夫が大切かと思う。先進国らしい改善を求める。

問5 国有林モニターの活動を通して、森林・林業、木材産業や国有林に対する考え方が変わりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

- ①とても変わった    ②ある程度変わった    ③あまり変わらなかった  
④全く変わらなかった    ⑤わからない

まとめ

多くの方が、森林・林業、木材産業や国有林に対する考え方が変わったと回答下さいました。しかし、『国有林に関する考え方は変わったと思うが、森林・林業を広く見て、あまり変わっていない』という意見をいただき、あまり変わらなかったとの回答もありました。



<回答>

- ・ シカ被害対策を含め、地域一体となって取り組んでいる行政機関の様子を知ることができた。
- ・ 机上の仕事が多いかと思いきや現場で働いているからこそその問題点が掘りおこされ改良されていることがわかる。コンテナ苗など興味深いものがある。
- ・ 実際に何ができるのか、自分としては、身近な林業の活動参加、体験がしてみたいと思った。
- ・ 森や林の近くに住んでいるので、ある程度わかっていたが、木材産業のこれからの在り方に大きな期待を持った。
- ・ 日常活動の中で『木材産業の現状』を実感することがほとんどなかったので、まだまだ遠い存在であることは否めない。
- ・ 若者がこの分野の仕事をしてみたいと思うような開拓を求める。林業は後継者不足、儲けにならない等、開拓に至るまでの問題はあるかと思うが、頑張してほしい。
- ・ 国有林に関する考え方は変わったと思うが、森林・林業を広く見て、あまり変わっていない。

- ・情報をもらい、知識そのものは増えたことは事実であるが、それにより考え方が変わると言うまでには至っていない。むしろ、まだ知らず知りたい事が沢山あると言う状況。

問6 国有林モニターの活動を通して、森林・林業、木材産業や国有林に関する知識を深めるために、独自に取り組むようになった活動はありますか？次の中から一つだけお答え下さい。

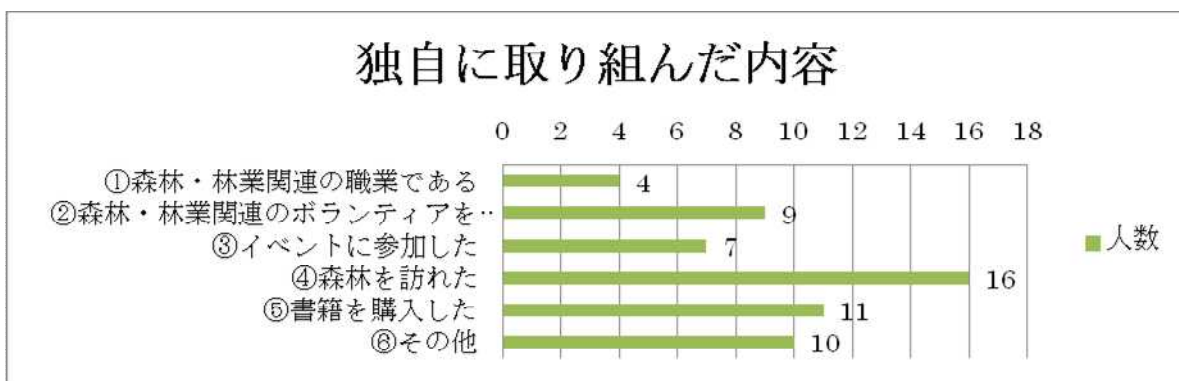
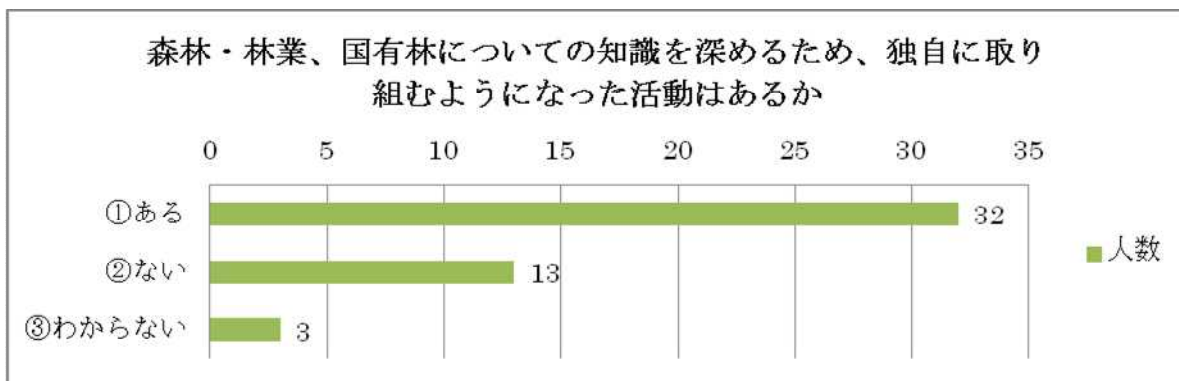
- ①ある ②ない ③わからない

問7 上記問6で、「①ある」とお答えいただいた方は、どのようなことに取り組まれましたか？次の中からいくつでもお答え下さい。

- ①森林・林業関連の職業である ②森林・林業関連のボランティア  
 ③森林・林業関連のイベントに参加 ④森林を訪れるようになった  
 ⑤書籍を購入した ⑥その他

### まとめ

回答いただいたモニターの多くが、国有林モニター活動以外にボランティアに参加や森林を訪れるなどの活動を行っていました。『国有林モニターを始める前から取り組んでいたが、問題意識をもって活動するようになった』や『ボランティアには、まだ参加していないが、時間を作って参加してみたいと思う』などの意見をいただきました。



### <回答>

- ・国有林モニターを始める前から取り組んでいたが、問題意識をもって活動するようになった。
- ・もともと森林に行くのが好きだったが、更にいくようになった。
- ・ボランティアサークルとして、県内森林清掃活動と、植樹活動を行っている。
- ・モニターで得た情報を参加しているボランティア活動メンバーに提供している。
- ・ボランティアには、まだ参加していないが、時間を作って参加してみたいと思う。

- ・ 地元で里山保全活動をしているNPO法人に参加するようになった。
- ・ NPOの森里海再生協議会に入会し、環境と森の果たす重要性を啓発する活動を行っている。
- ・ テレビ番組で、木材利用の話があると、しっかり見ている。
- ・ 従来あまり手に取る事の無かった関連書籍の購入が増えた。また、各地の森、樹を観て周る機会を持つようになった。
- ・ 身近なところから少しでも取り組めないかと思い、木材や紙類のリサイクルや無駄な使用を控えるように心がけるようになった。
- ・ 機会があると林業に携わる、携わっていた人達との会話が多くなった。

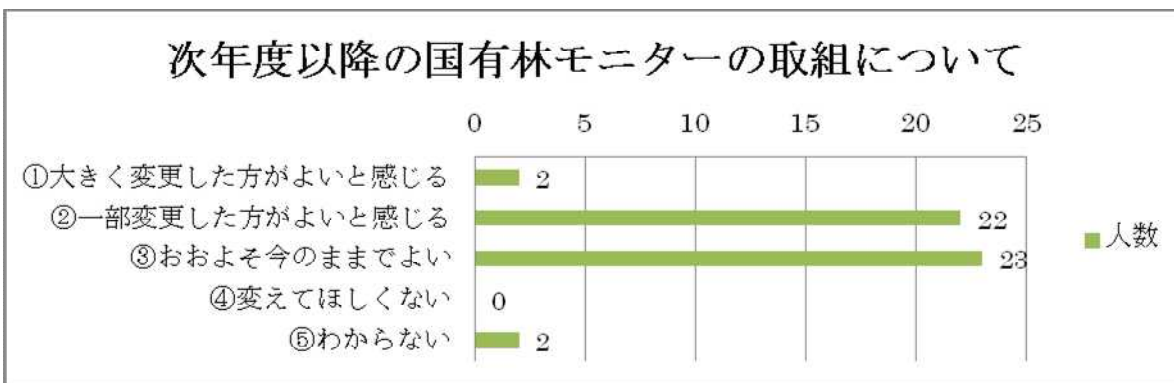
問8 九州森林管理局では、国有林モニターの方に、広報誌や国有林に関する資料を送付し、国有林の役割や現状といった情報をお知らせすると共に、国有林モニター会議への参加やアンケートへの回答等を通じて、ご意見をいただくこととしております。

次年度以降の国有林モニターの取組について、変更した方がよいと感じることはありますか？次の中から一つだけお答え下さい。

- ①大きく変更した方がよいと感じる    ②一部変更した方がよいと感じる  
 ③おおよそ今のままでよい    ④変えてほしくない    ⑤わからない

まとめ

国有林モニター活動について、おおよそ今のままでよいという回答が多くありましたが、一部変更した方がよいと感じる方も多いという結果になりました。いただいた意見を、今後のモニター活動をよりよいものにしていくために、反映させていきたいと思っております。



<回答>

「おおよそ今のままでよい」という内容のご意見を多数いただきました。ここでは、それ以外の方から出された、変更した方がよいと思う内容等について記載いたします。

【資料等について】

- ・ 資料をたくさんもらったが、難しい内容があり、より、分かりやすい資料であると良いと思う。
- ・ 初めての(1年目の)モニターには、[RINYA]の広報誌だけの送付から始めてもいいと思う。「広報九州」は新聞よりも小さな活字で、専門用語も多いときがあり、読む側としては少し抵抗があった。「RINYA」の方がイベントの掲載などが多く、読みやすかった。
- ・ 私たちに配布されるような資料が公共の場所に無い。
- ・ 広報誌は内容が充実しているし、パソコン(ネット)でも見られるので、一般の人からも

っと手にしたり、見る機会が格段に増えるといいなと感じる。

- ・ 広報誌の連載のうち「都会の中の憩いの森」は興味深く、単行本化や電子媒体化を図るとよい。

#### 【モニター会議について】

- ・ 半年に1回、年2回くらいで開催して欲しい。
- ・ 北部九州と南九州に分けるなど、出席し易い環境作りを行ってほしい。
- ・ 事前に、アンケートで、こういう企画をする予定だが、何曜日がいいとか、多々、希望を聞き、希望が多い日時に絞るべき。
- ・ 日帰りではとても難しい。もっと行きやすい、もしくは、具体的な参加の仕方（行き方交通費など）情報が欲しかった。
- ・ 参加者の皆様と交流する時間をもう少し設けてほしい。
- ・ 一泊二日だと他の方々と意見交換も盛んにできるのではないかな。

#### 【その他】

- ・ 生の声は何よりも心に響くし残るし影響力もあるので、直接生の声が聞けるセミナーやイベントが定期的にあるといいと思う。
- ・ もっと関係者やモニター同士の意見交換の場があって良いと思う。

## II その他

今回お伺いしたことを含め、森林・林業、木材産業や国有林に対する期待、ご意見、ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

#### まとめ

森林・林業、木材産業や国有林に対する幅広い期待や、広報活動の充実化について、多くの意見をいただきました。

#### <回答>

- ・ 佐賀や福岡の山林は、竹林が多いが、無法地帯のように横殴りに竹が倒れているようなところが多い。勿体ない。地域ごとに、そういうことも取り組めたらいい。
- ・ 鹿による食害対策や、土砂災害の防止、作業林道の建設など、森林に費やす経費も、マンパワーももっと必要なのではないかな？ 国には、より多くの人材と経費を森林に向けた政策を行っていただきたいと期待する。日本の緑被率は70%近くで、世界でもトップクラスと聞いている。森林は国民が世界に誇れる資産。それをもっと多くの国民に分かって欲しい。そのための広報活動を、国も地方も、官も民も共同して、もっと進めていければと思う。
- ・ 環境や災害等とても重要な役割を担っているのだから、もう少しマスメディアを活用してアピールした方が良いのではないかなと思う。
- ・ 森林を守り、育てることは、地球環境に深く関わる重要な事業。ある意味、生命を守るという観点では、経済より重要な事業だと考える。儲からない、就業者が少ないと諦めないではなく、それを変えること。今、頑張らないと手遅れになる恐れがあります。
- ・ 林業は1次産業で山間部の町・村の貴重な仕事（雇用）。木材利用の増加はもちろんだが若い人の仕事を増やし、地域が活性化することを切望する。

- ・近年の温暖化と思わる災害で信じられないような被害が出ており、森林の持つ力以上のもので、将来が不安になる。海外の安い木材や人件費より、国内生産・消費ができ、自然豊かな日本を保てるよう国は力を入れてもらいたいと思う。
- ・東日本大震災に伴う復興需要の実状がよく見えない。特に木材の需要が大きいと思っていたが、思ったほどないようだ。東北では、木材のセシウム被害も発生しているとの話もきているが、どうなっているのか、機会があれば、広報で取り上げて欲しい。
- ・国有林、特に水分嶺にある国有林については、天然林の保護、人工林の天然林化、種（遺伝子）の保護を主な事業として取り組んで欲しい。原因はともかく 1000m以上の天然林が、はげ山になるのにあまり猶予はないのではないかと非常に危惧している。
- ・教員にもこういう体験をしてもらえたら、教育の中でも活かせるのではと感じた。最近では、樹木の名称すら知らない教員も増えているので、教員向けの研修の機会もあればと感じた。
- ・私の知る営林庁営林署の時代とは、業務内容が多種に渡り又大きく変わり又これからも変わっていくことと改めて認識した。一般的には、少々地味な省庁とは思いますが、これからも多くの国民に分かりやすく広く森野の営林、管理、保全の大切さを伝えてくれることを願っている。

今回のアンケートでは、国有林モニターの活動について、一年間国有林モニターとしてご協力いただいた方のご意見をうかがいました。森林・林業や国有林野事業に対する、幅広い期待や情報提供を求める声など、大変多くのご意見をいただきました。ご協力誠にありがとうございました。

いただいたご意見を今後の国有林野事業に反映させるよう、また、特に国有林モニター制度の充実などに努めて参ります。

以上